保証書

持込修理　無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
（ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
（ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
（チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3.万一ラミネート加工に失敗した場合や、ラミネート加工により原稿が損傷し、再生不能となった場合でも、原稿に対する保証は致しかねます。
4.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
6.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	パーソナルラミネーター		★お買い上げ日：　年　月　日
型番	LAM-R42	LAM-R32	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
品番	00-5113	00-5114	
お客様	★お名前　様		
	★ご住所　〒　- 電話　（　）		
修理メモ			
販売店	★住所　店名　電話　印		

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

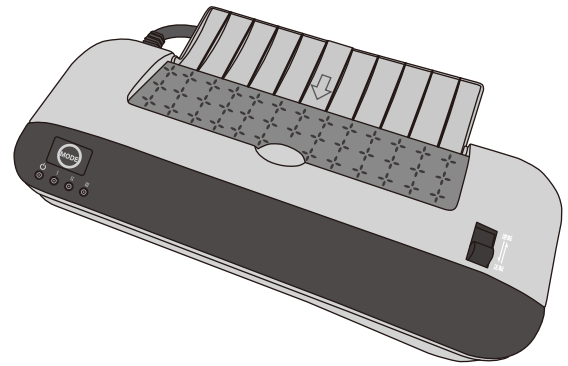
00-5113 / 00-5114A

Personal Laminator

パーソナルラミネーター

取扱説明書

保証書付　A4 タイプ　LAM-R42
A3 タイプ　LAM-R32



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。
●取扱説明書をお読みになったあとは、必要な時に取り出せるように、保証書と一緒に大切に保管してください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

ELECTRIC INC. OHM

商品特長

◎A4 1枚約30秒!!
当社従来機の2倍のスピード約600mm/分※で高速ラミネート
LAM-806/906と比較　※60Hz時

◎予熱時間2分でお待たせしません。（温度設定Ⅰの場合）

◎100～150ミクロンフィルム対応

◎オートオフ機能※で消し忘れ時も安心
※電源を入れてから約1時間で、ヒーターとモーターの電源が切れます。

◎巻き込み時に逆転スイッチで対応

目　次

安全上のご注意 …… 1～2
仕様 …… 2
パーソナルラミネーターを正しくお使いいただくために … 3～4
各部の名称と働き …… 5
ご使用方法
　準備 …… 5
　ラミネート開始 …… 6
　ラミネート終了 …… 7
お手入れ方法 …… 8
故障かなと思ったら …… 9
専用のラミネートフィルムをお使いください …… 10
保証書

品番 00-5113 / 00-5114

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。

■表示について：表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
（下記は図記号の一例です。）

禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

幼児、お子様には絶対に使用させない。 やけどやけがなど事故のおそれがあります。	**投入口や排出口に手や指を絶対に入れない。** やけどやけがなど事故のおそれがあります。
髪の毛を投入口に近付けない。 巻き込まれることにより、やけどやけがなど事故のおそれがあります。	**ネクタイ、ネックレス、衣類などを投入口に近付けない。** 巻き込まれることにより、けがなど事故のおそれがあります。
使用中や使用直後は本体上部に触れない。 やけどやけがなど事故のおそれがあります。	**机等の安定した平面上で使用し、底部の通気口をふさがない。** 本体が異常発熱し、故障や火災のおそれがあります。
使用直後は電源プラグを抜く。 誤作動により、けがなど事故のおそれがあります。	**通電したままで長時間放置しない。** 故障や火災のおそれがあります。
コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない。 定格を超えますと発熱による火災、感電のおそれがあります。	**発熱、発煙、異臭、異音、異物混入などの異常があった時は電源プラグを抜く。** 火災や感電のおそれがあります。使用を中止し、販売店に修理を依頼してください。
電源コードやプラグを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたりしない。 痛んだまま使用しますと火災や感電の原因になります。	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。** 感電のおそれがあります。
分解、改造、修理をしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。販売店に修理を依頼してください。	**電源は交流100V 50/60Hz以外では使用しない。** 火災、感電のおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

フィルムを含めての厚さが 0.5mm を超えるものはラミネートしない。 故障の原因になります。	**上に物を乗せない。** 変形、故障の原因になります。
ステップル、クリップ、ピンは取り除く。 故障の原因になります。	**水平で安定した場所に設置する。** 本体が倒れ、けがをするおそれがあります。
使用が終了したら電源を切る。 誤作動、火災の原因になるおそれがあります。	**落下、破損した場合は使用を中止する。** 火災や感電の原因になります。使用を中止し、販売店に修理を依頼してください。
長時間ご使用にならないとき、移動するときは電源を切り、電源プラグを抜く。 火災や感電の原因になります。	**電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。** 火災、感電のおそれがあります。
お手入れのときは必ず電源を切り、電源プラグを抜く。 感電、けがのおそれがあります。	**電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持つ。** コードが破損し、感電、火災の原因になります。
高温、多湿の場所、ほこりの多い場所では使用しない。 火災、感電の原因になります。	**熱気具や火気のそばで使用しない。** キャビネットが変形し、火災、感電、誤作動の故障の原因になります。
機械内部に金属類を入れたり、油類や水をかけない。 火災、感電の原因になります。	**直射日光のあたる場所に設置しない。** 誤作動、故障の原因になります。

●オートオフ機能について

本機は長時間の使用や電源の切り忘れによる事故を防ぐ目的で、電源を入れてから約1時間でヒーターの電源が、さらに1分後にローラの電源が切れる「オートオフ機能」が搭載されています。
電源を入れてから約1時間経ちますと温度設定ランプが3回点滅し、「ピー」音が3回鳴ってヒーターの電源が切れます。その後約1分でローラーの回転が停止し、電源ランプが消灯します。
再度ご使用になる場合は、電源スイッチを「切」の位置にし、電源を切った状態で本機を十分に冷ましてから5ページの「ご使用方法（準備）」③以降の操作を行ってください。

仕様

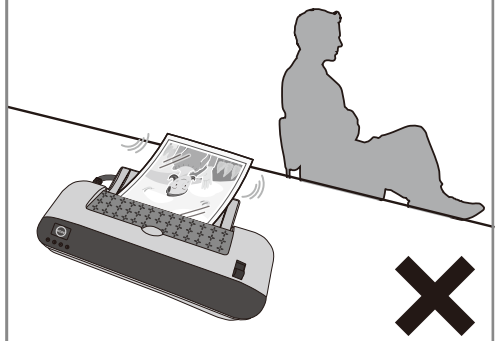
	A4タイプ	A3タイプ
型番・品番	LAM-R42 00-5113	LAM-R32 00-5114
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	850W	
外形寸法（約）	幅390×奥行150×高さ90mm	幅490×奥行150×高さ105mm
質量（約）	2.2kg	3.1kg
コード長（約）	1.2m	
ラミネート速度	50Hz 500mm／分 60Hz 600mm／分	
最大ラミネート幅	230mm	320mm
最大ラミネート厚	内容物を含めて0.5mm	

パーソナルラミネーターを正しく快適にお 使いいただくために 必ずお守りください!!

巻き込みや事故、故障の原因になります。

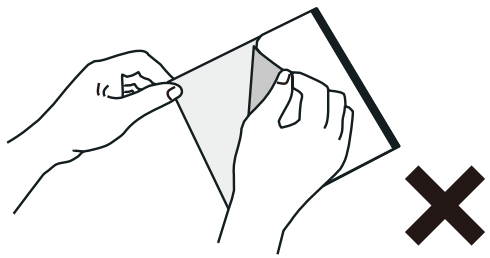
●100/150ミクロンフィルム専用です。

●ラミネーター使用中は本製品から目を離さないでください。

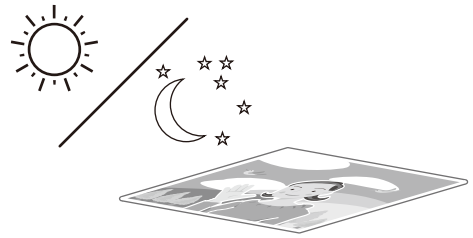


●机などの安定した平面上で必ず使用してください。じゅうたんやクッション、布製品、ビニールシート、プラスチック製品、ガラス板等、熱の影響を受けやすい物の上では絶対に使用しないでください。本体の発熱で破損や故障、火災になるおそれがあります。

●一度ラミネートしたものは二度と元に戻すことができません。
原稿の種類や厚さ、使用方法、周囲の温度等により必ずしもうまくいかない場合がありますので、ご使用前に十分ご注意ください。



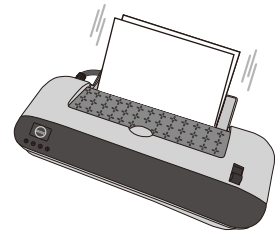
●インクジェットプリンタで印刷したものは、十分に乾燥させてからラミネートを行なってください。特に写真用紙等は一昼夜程度乾燥させてからラミネートを行なってください。



●ラミネートフィルムは必ず閉じた側から本機に挿入してください。

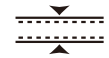
●ラミネートフィルムは入り口に対してまっすぐに挿入し、斜めに挿入しないでください。

●定期的なローラークリーニングを行なってください。(本書8ページ　お手入れの方法　参照)

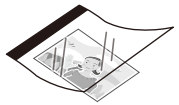


●以下のものはラミネートしないでください。

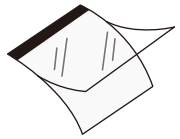
◉フィルムを含めて厚みが0.5mmを超えるもの



◉片面のみのラミネート

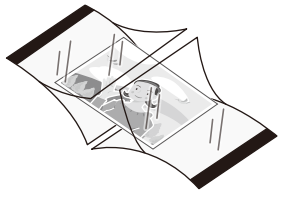


◉フィルムのみの(内容物を挟まない)ラミネート



◉ラミネート前にカットしたフィルムを使用してのラミネート

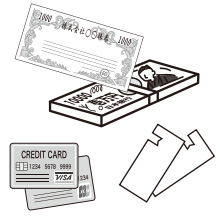
◉複数のフィルムを継ぎ足して行うラミネート



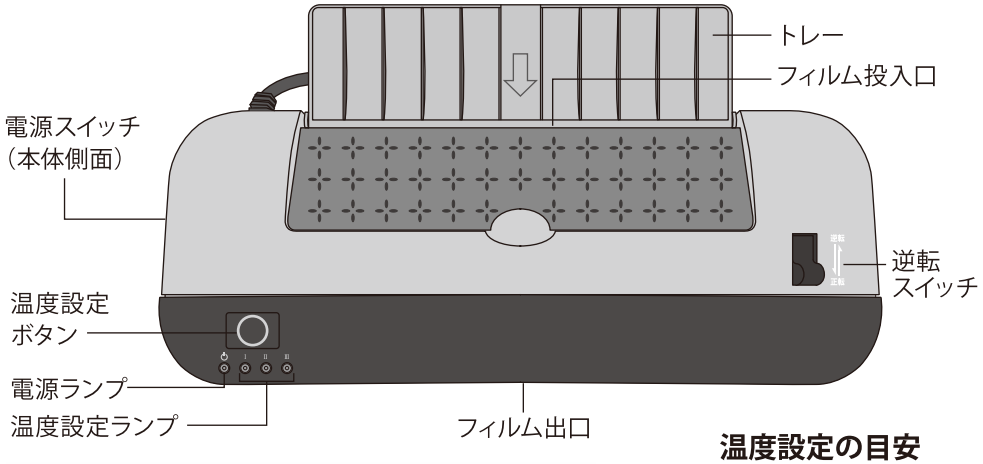
◉フィルムに対して内容物が著しく小さい(余白部分が大きい)ラミネート

◉1枚のフィルムに複数の内容物を並べたラミネート

◉紙幣、株券などの有価証券、たった1枚しかないような大切なもの
◉感熱紙などの熱で変色するもの(レシート・鉄道の乗車券など)
◉磁気カード類・クレヨンや溶剤系絵の具を使用したもの
◉金属、布、花など紙以外の内容物
◉水分、油分を含んだ紙



各部の名称



ご使用方法（準備）

①トレーを後方へ開きます。
② 電源スイッチが「切」の位置にあることを確認し、差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。
③ 電源スイッチを「入」の位置にします。「ピー」音が鳴り、電源ランプが点灯し、温度設定ランプがⅠの位置で点滅します。
④ 温度設定ボタンを押し、適切な温度に合わせてください。
⑤ 温度設定ランプが点灯に変わり、「ピー」がなれば準備完了です。

温度設定の目安

	フィルム	内容物
Ⅰ	100ミクロン	薄い
Ⅱ	100ミクロン	厚い
	150ミクロン	薄い
Ⅲ	150ミクロン	厚い

薄い：コピー用紙、薄手のプリンタ用紙、雑誌の切り抜きなど
厚い：厚手のプリンタ用紙、写真、はがきなど

⚠ 注意

●温度設定をⅠ以外から低い設定に変更する（ⅡからⅠに、ⅢからⅠやⅡに）際には最大で10分程度かかります。
薄いものと厚いものをラミネートする場合は、先に薄いものを行ったあと、温度設定を変更して作業することをおすすめします。
●机などの安定した平面上で必ず使用してください。じゅうたんやクッション、布製品、ビニールシート、プラスチック製品、ガラス板等、熱の影響を受けやすい物の上では絶対に使用しないでください。本体の発熱で破損や故障、火災になるおそれがあります。
●フィルムを含めての厚さが0.5mmを超えるものはラミネートできません。
●内部のローラーが加熱されることによって、ゴムの臭いを感じることがありますが、使用上問題ありません。
●周囲の環境（季節・温度など）により、適温ランプの点灯時間は異なります。ラミネートの仕上がりも変わる場合がありますので、ご注意ください。
●ラミネーター本体に外気やエアコンの風、暖房機の熱や温風を直接当てないでください。ラミネートがきれいに仕上がらない場合があります。

ご使用方法（ラミネート開始～終了）

●ラミネート開始

温度設定ランプが、点灯していることを確認してください。
ラミネートしたいものをラミネートフィルムにはさみ、フィルムの接着部から本体後方のフィルム投入口にまっすぐ挿入してください。フィルムはラミネートするもの（内容物）より一回り大きいフィルム（余白が2～3mm程度）を使用してください。

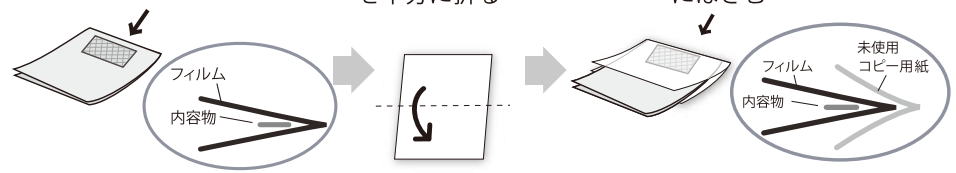
●余白が大きい場合は、未使用のコピー用紙を半分に折り、内容物をセットしたフィルムをはさんでラミネートしてください。

余白は2～3mm程度必要です。

①できるだけ先端奥に

② コピー用紙（未使用品）を半分に折る

③対象物とフィルムは内側奥にはさむ



④ラミネート実行

●オートオフ機能について

本機は長時間の使用や電源の切り忘れによる事故を防ぐ目的で、電源を入れてから約1時間でヒーターの電源が、さらに1分後にローラの電源が切れる「オートオフ機能」が搭載されています。
電源を入れてから約1時間経ちますと温度設定ランプが3回点滅し、「ピー」音が3回鳴ってヒーターの電源が切れます。その後約1分でローラーの回転が停止し、電源ランプが消灯します。
再度ご使用になる場合は、電源スイッチを「切」の位置にし、電源を切った状態で本機を十分に冷ましてから5ページの「ご使用方法（準備）」③以降の操作を行ってください。

⚠ 注意

●ラミネートする前にハサミやカッター等で切断加工したフィルムは絶対に使用しないでください。フィルム巻き込みの原因になります。余白が大きくなる場合のラミネート方法（6ページ）でラミネートを行ったあとに、フィルムの余白をカットしてください。
●操作中（フィルムが出口から完全に出終わるまで）は、本体から目を離さないでください。
●ラミネートする物の厚みはフィルムを含めて0.5mmを超えないでください。ラミネートがうまくできなかったり、本体を破損するおそれがあります。
●フィルムに内容物をはさむ場合はフィルム先端の接着部までしっかり挿入し、先端部分の余白を残さないようにしてください。先端部分の余白が多いと途中で詰まる場合があります。
●フィルムがまっすぐに入らないで斜めに入ると、フィルムがシワになったり、途中で詰まる場合があります。詰まったときは逆転スイッチを逆転の位置に合わせ、戻ってきたフィルムを投入口から取り除いてください。
●適温ランプが点灯していない状態でのラミネートはしないでください。シワの原因になります。
●インクジェットプリンターで印刷した用紙をラミネートする場合は、充分に乾燥させてからラミネートしてください。乾燥が不充分の場合、インクの水分が蒸気となり、気泡発生による接着不良やシワの発生、詰まりの原因になります。

ラミネートフィルムが途中で詰まってしまった場合

本体後部のフィルム投入口からフィルムを投入しますと約10秒後にフィルム先端が本体前の出口から出てきます。それ以上時間が経過してもフィルムの先端が出てこない場合は内部で詰まっている可能性があります。
①本体上面にある逆転スイッチを「逆転」の位置に合わせてください。ローラーが逆回転します。フィルム投入口から取り除いてください。その際、無理にフィルムを引き抜かないでください。
②フィルム除去後、逆転スイッチを「正転」合わせ、作業を再開してください。

●ラミネート終了

フィルム出口よりラミネートされたものが出てきます。
無理に引っ張らず、完全に出てくるまでお待ちください。無理に引き出そうとすると、故障の原因になります。
使用が終了しましたら、電源スイッチを「切」の位置にして、電源を切ってください。

⚠ 注意

●ラミネートされたものをフィルム出口に放置しておきますと、本体の熱により変形する場合がありますので、直ちに取り出してください。その際、フィルムが熱くなっている場合がありますので、注意してください。
●ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので、完全に冷えるまで必ず、平らな場所で保管してください。
●続けてラミネートする場合は前のフィルムが、フィルム出口から完全に出終わったことを確認してから次のフィルムを挿入してください。
●ご使用後、保管する時は、充分に本体の温度が下がってから行ってください。熱くなっている状態で収納しますと、故障や火災の原因となります。

お手入れの方法

ラミネーターを常に最良のコンディションを保つためには、定期的なローラーのクリーニングは欠かせません。
こまめにローラーのクリーニングを行い、手入れをよく施してください。

●ローラーのクリーニング

ラミネートフィルムの糊がローラーに付着し、フィルム巻き込みの原因になります。
定期的にローラーの清掃を行ってください。

●クリーニング方法

5枚程度ラミネート加工を行うごとに、未使用のコピー用紙を2つ折りにして挿入口に挿入し、数回の空通しを行ってください。用紙は折った方から挿入してください。なお、1度通した面は汚れ、糊が付着していますので再度使用しないでください。巻き込みの原因となります。

⚠ 注意

●ローラークリーニング時にレポート用紙など薄手の用紙を使用すると、巻き込むおそれがありますので使用しないでください。もし、巻き込んでしまった場合は7ページの「ラミネートフィルムが途中で詰まってしまった場合」の手順にしたがってフィルムを取り除いてください。
●ローラーのクリーニングは、適温ランプが点灯している状態で実施してください。

故障かなと思ったら

こんなときは？	このように対処してください。
電源スイッチを入れても動作しない	**電源プラグがコンセントに正しく接続されていますか？** ●正しく接続してください。
ラミネートフィルムが入っていかない	**電源ランプが点灯していますか？** ●電源スイッチを「入」に切り替えてください。 **ラミネートできる厚みを超えていませんか？** ●本製品で加工できる厚みは原稿、フィルムをあわせて0.5mm以下です。再度お確かめください。
ラミネートがうまく出来ない 出来上がったラミネートが白っぽい	**温度設定ランプが点灯していますか？** ●温度設定ランプが点灯するまでお待ちください。 **インクジェットプリンター等で印刷してすぐにラミネートしていませんか？** ●インクが充分に乾燥したあとにラミネートしてください。 **設定温度が低い可能性があります。** ●温度設定を1段階上げて、新規に実行してください。
フィルムが波打つ	**設定温度が高い可能性があります。** ●温度設定を1段階下げて、新規に実行してください。
温度設定ランプが点灯しない	**待機モード中ではないでしょうか？** ●周囲の環境（温度、季節など）により、適温ランプの点灯時間は異なります。 しばらくお待ちください。
使用中に適温ランプが点滅する 使用中に適温ランプ、電源ランプが消灯した	**オートオフ機能がはたらいています。 2ページの「オートオフ機能について」を参照してください。**
フィルムが詰まってしまった（フィルム投入口にまだフィルムが残っている場合）	**7ページ「ラミネートフィルムが途中で詰まってしまった場合」を参照して、フィルムを取り除いてください。**

上記の操作を行っても症状が回復しない場合は、使用を中止して、お求めの販売店、または弊社修理ご相談センターへ修理をご依頼ください。

専用のラミネートフィルムをお使いください

**●フィルムは必ず「オーム電機製」のラミネートフィルムをご使用ください。
フィルムの特性が合わないと、シワの発生やフィルム詰まりの原因となります。**

100ミクロンタイプ…さまざまな用途に使えるスタンダードフィルム
150ミクロンフィルム…しっかりとした、腰のある厚手フィルム

用途	入り数	100 ミクロンフィルム	150 ミクロンフィルム	サイズ（mm）
名刺	20 枚	00-5528		60×95
	100 枚	00-5529	00-5502	
診察券	20 枚	00-5530		68×99
	100 枚	00-5392		
写真（L 判）	20 枚	00-5531		95×135
	100 枚	00-5532		
はがき	20 枚	00-5533		106×154
	100 枚	00-5534		
B6	20 枚	00-5535		138×192
	100 枚	00-5393		
A5	20 枚	00-5536		158×220
	100 枚	00-5394		
B5	20 枚	00-5537		192×267
	100 枚	00-5538	00-5510	
A4	20 枚	00-5539	00-5511	216×303
	100 枚	00-5540	00-5512	
B4	20 枚	00-5541		267×374
	100 枚	00-5542	00-5514	
A3	20 枚	00-5543	00-5515	303×427
	50 枚		00-5516	
	100 枚	00-5544		